

y o j i y a m a d a

h i s a s h i i n o u e

市川市・葛飾区文化交流事業

山田洋次

井上ひさし

展



山田洋次 写真提供:松竹株式会社

井上ひさし 写真提供:佐々木隆二

2015. 11.21 (土) Sat - 2016. 2.14 (日) Sun

市川市文学ミュージアム

- 開館時間 10:00~19:30(土日祝日は18:00まで)
入室は閉館時間の30分前まで
- 休館日 月曜日(11/23、1/11は開館)、11/24、11/27、12/28~
1/4、1/12、1/29
- 観覧料 一般500円(400円)、65歳以上400円、高大生250円(200円)
中学生以下無料
※()は25名以上の団体料金。障害者手帳をお持ちの方と付添の方1名無料。



市川市文学ミュージアム

Ichikawa City Museum of Literature

〒272-0015 千葉県市川市鬼高1-1-4

生涯学習センター(中央図書館)2階

TEL:047-320-3334

FAX:047-320-3356

URL:http://www.city.ichikawa.lg.jp/litera/

山田洋次 × 井上ひさし

市川市文学ミュージアムでは、葛飾区柴又を舞台にした映画『男はつらいよ』シリーズを生み出した映画監督 山田洋次と市川ゆかりの作家 井上ひさし、互いに敬意を寄せた二人の企画展を開催します。

本展では、二人の縁と、二人が大切にしてきた「笑い」の原点と意味、戦争を描いた作品をクローズアップします。山田洋次の最新映画『母と暮せば』の小道具、衣装、美術資料、イメージ画などの多彩な製作関係資料や『家族はつらいよ』の関連資料、井上ひさしの創作メモ、書き込みのある書籍、直筆原稿など創作過程の資料を多数展示します。

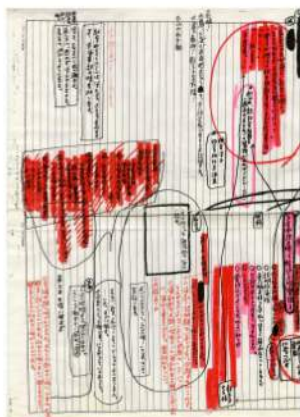
本展が、笑いの大切さや平和について改めて考える機会になれば幸いです。

■ 展示資料

井上ひさし
『手鎖心中』限定版
(1985年、成瀬書房)
提供: 蓬筆堂文庫



井上ひさし『手鎖心中』原稿 提供: 仙台文学館



井上ひさし『紙屋町さくらホテル』創作メモ
提供: 仙台文学館

※期間中、一部資料については
展示替えを行います。



『男はつらいよ』第一作ポスター
©1969松竹株式会社



『キネマの天地』プログラム
提供: 松竹株式会社



『母と暮せば』台本
提供: 松竹株式会社



『母と暮せば』イメージ(画 野野 健)
提供: 松竹株式会社

■ 関連イベント

上映会『キネマの天地』(要申込)

(1986年/監督:山田洋次/配給:松竹株式会社)

日時 2016年1月17日(日) 13:30~16:00

会場 市川市生涯学習センター2階 グリーンスタジオ

※山田洋次氏が登壇予定です。井上ひさしも作品づくりに参加しました。

定員 220名 申込締切 12月18日(金)

古今亭菊之丞落語会 — 企画展にちなんで — (要申込)

日時 2016年1月24日(日) 14:00~15:30

会場 市川市生涯学習センター2階 グリーンスタジオ

演目 『妾馬』、『居残り佐平次』

定員 220名 申込締切 12月25日(金)

担当学芸員による展示解説 (申込不要)

日時 2015年12月5日(土)、2016年1月10日(日)、2月6日(土) 各回14:00~

会場 展示室

〈申込方法〉

往復ハガキまたはFaxで、イベント名、参加人数(2名まで可)、氏名、住所、電話番号を記入のうえ、

〒272-0015 市川市鬼高1-1-4 生涯学習センター2階(Fax: 047-320-3356)

市川市文学ミュージアム「山田洋次×井上ひさし展」関連イベント係までお送りください。

※申込多数の場合は抽選とさせていただきます。

※イベント参加の場合は、観覧券が必要です(観覧済みでも可)。ただし、展示室への入室は、当日の観覧券が必要です。

※締切後でも定員に余裕がある場合は、電話にて申込を受け付けます。

PROFILE 山田洋次

1931年大阪府出身。東京大学法学部卒。61年『二階の他人』で監督デビュー。69年『男はつらいよ』シリーズ開始。『家族』(70)、『幸福の黄色いハンカチ』(77)、『息子』(91)、『学校』(93)、『たそがれ清兵衛』(02)他、多数。近年の公開作に『おとうと』(10)、『東京家族』(13)等。2010年、第60回ベルリン国際映画祭において特別功労賞にあたるベルリナーレ・カメラを受賞。2014年、『小さいうち』が第64回ベルリン国際映画祭コンペティション部門にて銀熊賞を受賞。新作『母と暮せば』(15)『家族はつらいよ』(16)の公開を控えている。



写真提供: 松竹株式会社



写真提供: 佐々木隆二

井上ひさし PROFILE

1934年山形県出身。上智大学外国語学部卒。放送作家として『ひょっこりひょうたん島』(64~69、共作)を手がけた後、『日本人のへそ』(69)で演劇デビュー。『手鎖心中』(72)で直木賞受賞。小説、戯曲を中心に多数の作品を生み出し、日本ペンクラブや九条の会、世界平和アピール七人委員会などで積極的な平和活動を行った。戯曲『父と暮せば』、『化粧』などは海外でも公演され、高い評価を受ける。1967年から1987年まで市川市に在住。2010年75歳で死去。

■ 観覧料相互割引のお知らせ

市川市文学ミュージアム/ 葛飾柴又寅さん記念館・山田洋次ミュージアム

「山田洋次×井上ひさし展」開催期間中、各館の利用済み観覧券(半券)を受付でご提示いただくと、市川市文学ミュージアムでは一般・高大生の観覧料が、寅さん記念館・山田洋次ミュージアムでは一般の観覧料が2割引になります。

※寅さん記念館・山田洋次ミュージアムの観覧券は2館共通となっています。

■ アクセス



【JR総武線】本八幡駅・下総中山駅より徒歩15分

【都営新宿線】本八幡駅より徒歩20分

【京成線】鬼越駅より徒歩10分

【車】京葉道路 市川インターより5分

※駐車場はありますが、できるだけ公共交通機関をご利用ください。